

現行タイムラインの課題について

広域避難の課題

四万十市の理想

台風が来る前に、2万人を高台等にある安全な避難所に避難させたい。

		-48H	-36H	-24H	-12H	-10H	-8H	-7H	-6H	-5H	-4H	-3H	-2H	-1H	0H	1H	2H
台風情報		台風説明会		台風の特別警報の可能性	台風の特別警報の発表												
気象予警報	大雨・洪水			注意報	警報												
	風・波浪	注意報	警報														
河川水位	中筋川							水防団待機水位		氾濫注意水位			避難判断水位	氾濫危険水位	破堤		
	後川									水防団待機水位		氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	破堤		
	四万十川															水防団待機水位	氾濫注意水位

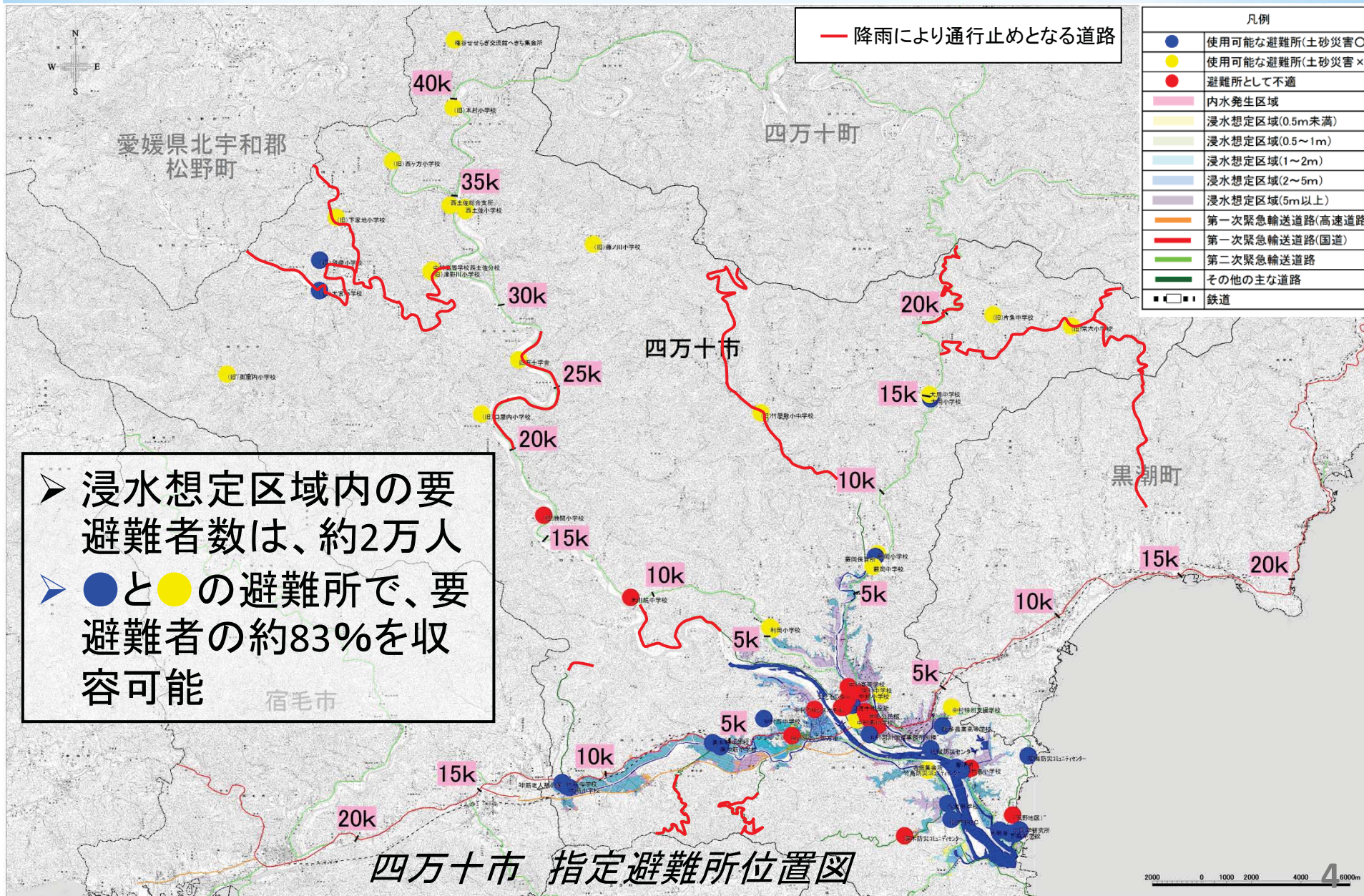
【現行のタイムライン】

四万十市	中筋川													避難準備情報	避難勧告	避難指示	
	後川													避難準備情報	避難勧告	避難指示	
	四万十川																
消防団警察	水防活動							水防活動									
	避難誘導						交通整理						避難誘導				
土佐くろしお鉄道								運休		列車の高台退避							
高知西南交通					バスの高台退避												
いろは館				入所者の移送計画										入所者の移送開始			

【理想のタイムライン】

四万十市	中筋川			広域避難勧告	広域避難指示	収容率を100%とするため、浸水しない避難所の抽出が必要													
	後川																		
	四万十川																		
消防団警察	水防活動							水防活動											
	避難誘導			避難誘導			交通整理												
土佐くろしお鉄道				避難移送の協力				運休		列車の高台退避									
高知西南交通				避難移送の協力				バスの高台退避											
いろは館				入所者の移送計画	入所者の移送開始														

広域避難の課題



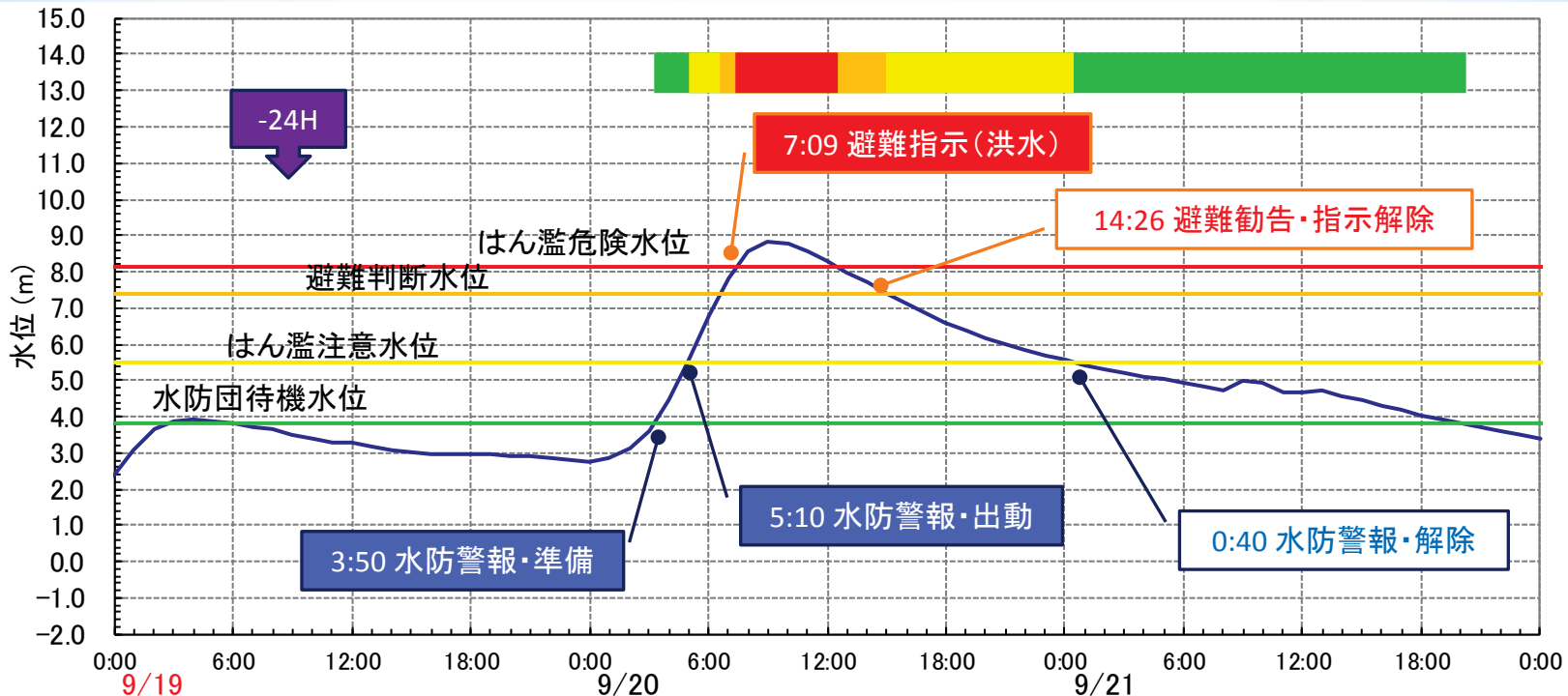
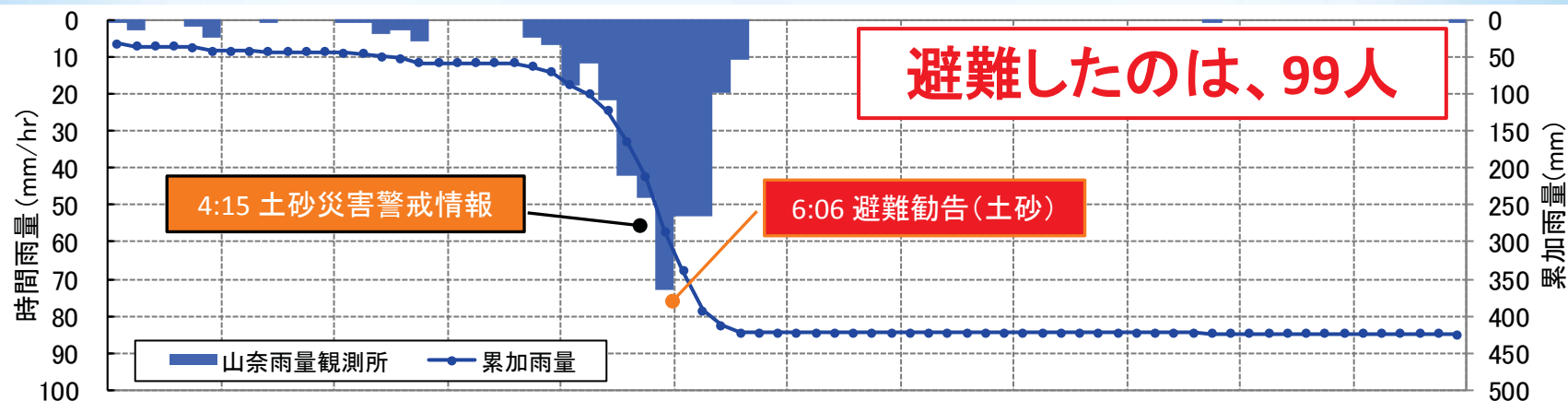
広域避難の課題

現状の課題

- 広域避難勧告発令(24時間前など)のトリガーが無い
- 要避難者を100%収容できる避難所が無い
- 避難勧告を発令しても避難する住民が少ない

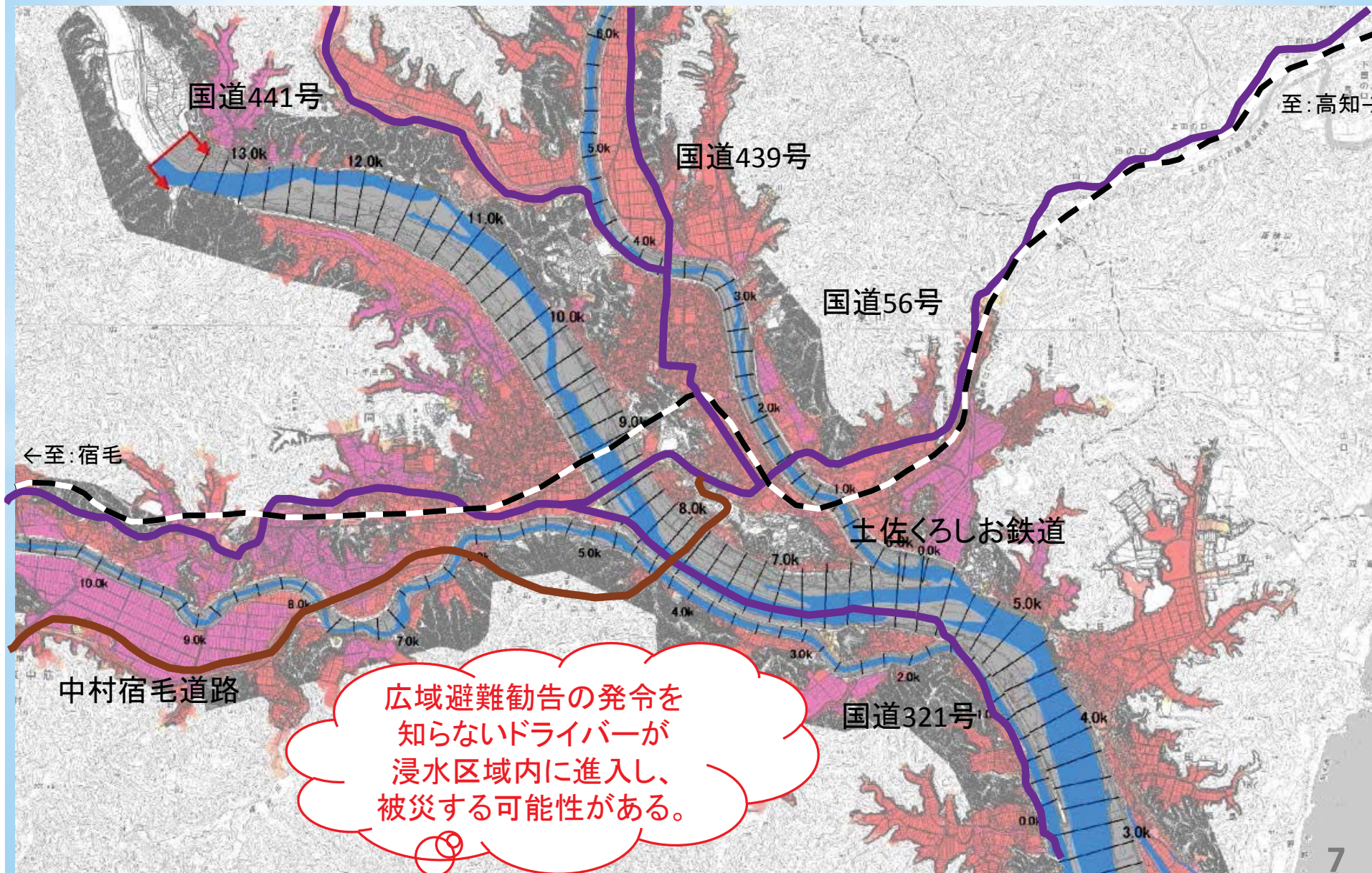
広域避難の課題

中筋川



平成28年9月 台風16号 中筋川(磯ノ川)水位

流入規制の課題



課題の解決に向けての議論の方向性

課題	具体的な検討事項	備考
広域避難や要支援者の避難に関する課題	<ul style="list-style-type: none">● 避難開始時間● 情報伝達（機関間、住民）● 集合場所● 避難方法（マイカーの可否）● 避難先（駐車スペース含む）● 協力できるバス等の台数● 行政間の情報伝達訓練● 住民の避難訓練	訓練等を通じて検討
流入規制に関する課題	<ul style="list-style-type: none">● 規制開始時間● 規制場所● 情報伝達（ドライバー向け）● 人員体制● 観光協会との連携● 旅行会社との連携● 外国人の対応	机上検討
住民の避難に対する意識向上の課題	<ul style="list-style-type: none">● 地域防災力の向上● 住民意識の向上	ワークショップ等を通じて検討

今年度目指すアウトプット

- 四万十市内において、廃校になった学校、集落集会センター等の公共・準公共施設や運動公園、ゴルフ場、キャンプ場等の駐車場などに避難可能な施設があるかどうかを調査 【第5回WG】
- 上記施設の収容可能人数を推定し、どの程度要避難者数をカバーできるかを調査 【第5回WG】
- モデル地区を抽出し、早期に避難を行うための仕組みづくり、訓練の実施等、PDCAサイクルの担保を確保 【第5回WG】
- 行政が住民を巻き込むための仕組みづくりを検討 【第6回WG】
- 行政間の連携については、住民に情報を理解させるためのワーキングの実施や異動後の担当者がタイムラインを理解できるツール(過去の被災事例やVTR等)を作成 【第6回WG】

演習等の実施について

ロールプレイング演習

【目的】

タイムラインの運用にあたり、関係機関がタイムライン上の設定時刻における行動を実行し、防災行動計画の課題(抜けている行動はないか、設定時刻は適切か等)を抽出する。

【実施概要】

中村河川国道事務所より、想定シナリオに基づきタイムライン上の設定時刻をメールorFAXで情報提供。

関係機関は、設定時刻上の行動計画を実行。

振り返りによる防災行動計画の課題を抽出する。

【実施時期】

平成29年1~2月(平日・半日程度を予定)

住民避難訓練

【目的】

洪水時における避難の重要性を住民に理解させること及び避難訓練によって避難行動に対する意識を向上させる。

また、避難に要する時間の検証を行う。

【実施概要】

モデル自治会を対象に、市による防災無線や広報車からの避難勧告の呼びかけをトリガーに、近隣もしくは高台の避難所へ避難を行う。

徒歩(車椅子含む)、自動車による避難を想定。

自動車による避難の課題や避難に要する時間の検証を行う。

【実施時期】

平成29年1~2月(休日・半日程度を予定。内、1時間程度は防災に関する出前講座を実施)